

# 球磨村 おがわ瓦版

令和3年10月10日  
編集発行 宮原 修  
090-9585-8894

## 小川大王神社秋祭りとは

### 十五夜綱引き奉納

9月21日、小川班恒例の大王神社秋祭りは神事のみ行われ、昨年の豪雨災害で中止していた十五夜の綱練りと綱引きは例年通り行われた。

神事後、2年ぶりに十五

夜の綱練りを集まった住民が

交代しながら、2時間ほどか

けて約15メートルの綱を練り

上げた。この日は平日のため

夕方5時過ぎから、仕事を終

えてきた住民らと二手に分か

れ、童心に帰り我が体が

力の限界をも忘れ必死

に綱を引き合い、十五

夜を楽しんだ。



童心に帰り、息も切れ切れに



息もバッチリ！綱を練る親子

防災

できることは地域で守る

小川班では、昨年6月ころより公民館や神社周辺がイノシシの出没でひどく荒らされ、土砂崩れを起こし危険な状況に。公民館は指定避難所にもなっており、防災上からも安全を確保するため、住民総出でブルーシートや土のうで応急的な復旧作業を行なっていた。

その後、班総会や防災委員会で検討を重ね、9月19日に改めて復旧作業をし、法面と石垣上部の崩落を防ぐ特殊なシートで張り付け補強をした。



住民で防災シートを張る

## 元気な姿を球磨村に！

### 一勝地・渡小学校合同運動会

爽やかな秋空の下、10月3日（日）に一勝地小（梅本和高校長 児童60名）と渡小（犬童裕美校長 児童66名）の合同運動会が開催された。

『くま村っ子 みんなで心合わせて 金メダル』をスローガンに、徒競走、演舞、紅白対抗リレー競技を披露し、地域に元気を届けた。



## 暑さ寒さも彼岸まで

今年の豪雨で冠水した田んぼの畔には、以前と変わらない真っ赤な彼岸花がきれいに咲き誇っていました。



(後方には浸水した渡小学校が見える)

球磨弁！ 38

わかるかな？

くるうか || あげようか

さでこむ || 流し込む

じやうめる || 均す

くえる || 崩れる

まっぽし || 真とも

くれや || 夜、晩

くじる || 潜る

ほそめとく || しまっておく



日當さん(球磨中) 優秀賞受賞

第43回「少年の主張」熊本県大会

熊本県、熊本県教育委員会、熊本県青少年育成  
県民会議、独立行政法人国立青少年教育振興機構  
の主催で、このほどに八代市にて第43回「少年  
の主張」熊本県大会が開催された。

今大会は、県内1101点中12点が選考され、  
主張発表、審査が行われた。そしてこの大会で、  
球磨中学校(竹内正信校長) 三年の日當茉耶さん  
(14)が優秀賞を受賞した。

日當さんは、今回の少  
年の主張で『わたしにと  
つての当たり前』と題し、  
1600字、5分程度に  
まとめ、被災の経験をし  
た事、その後の復興して  
いく中で周りの人との関  
わりや学校行事(体育大  
会等)を通して感じた事  
や思いを、自分の言葉で発表した。

そして日當さんは、昨年  
の豪雨災害で被災し仮  
設住宅で生活しながら、  
生徒会長と体育大会での  
応援リーダーの大役を  
務め、この県大会に臨  
んだ。大会後、「思ったこ  
とを伝えられて良かった  
し、優秀賞頂いてとても  
嬉しかったです。私の主  
張を聞いたり読んだりし  
た人が復興に向けて前  
に向か



優秀賞を受賞した日當さんと竹内校長

って進んでいってほしいです。これから先自分や  
球磨村のためにも頑張っていきたいし、励ました  
り応援していきたいです」と喜びと思いを語った。  
竹内校長は「主張の中でもあったように、当り  
前でなくなった世の中が変わっていく中でも前に  
進んでいきたいとしつかり発表してくれた。堂々  
と大変立派だった。この発表を校内だけでなく村  
内外にも聞いてもらいたい」と話していた。

みんなで楽しくエコバッグ作り

「よけまん」住民交流会

球磨村地域支え合いセンターでは、球磨村総合  
運動公園グラウンド仮設団地と錦町大王原公園仮設  
団地のみんなの家で、住民交流会「よけまん」を  
開き、仮設団地の入居者や近隣住民に喜ばれてい  
ます。

9月は新聞紙を使ったエコ  
バッグ作り(講師・渡小川地  
区の宮原修)に挑戦しました。  
エコバッグは頭(脳)と手先を使  
い心身の活性化に  
もなります。贈  
り物入れやペット  
の散歩などに、便利でおし  
ゃ  
れなバッグです。



参加した皆さんは「ちよつと難しいところもあったけど楽しんでました」と完成したバッグを持ち喜んでいました。



錦町仮設住宅の皆さん



球磨村仮設住宅の皆さん

あー楽し! 釣り談義 其の十

一年半ぶり、釣りに行って来ました。なにせ久  
しぶりの釣りでウキウキ♪いつも行ってたポイ  
ントには、私の釣りの師匠が来ていてすでに四、  
五匹のクロ(グレ)を釣っていました。さすが!  
この日、私は一匹しか釣れなかったのでもりりスし  
て海岸沿いの釣り場の下見をしながら帰りました。  
翌々日、リベンジに芦北の平国へ行きました。

ここは、十二、三年前に師匠とサビキ釣りで釣  
りにハマった防波堤でした。この日は、日曜日とあ  
って家族連れや若いカップルなどでいっぱい  
でした。始めて30分程して待望のチヌ(黒鯛)の  
アタリ。コレコレ、この引き、なんともたまり  
ません! サイズは足の裏。次はアタリを気付  
かないうちに糸がスルスルと出ていたので慌  
てアタリに合わせ取り込むことが出来ました。  
サイズもアップ。

後から隣に50代の夫婦が来て釣り始め、早  
々に奥さんが一匹釣り上げた。その後もコン  
スタントに釣り上げ、主人はその助手とい  
った感じでした。私はというと、昼前の満潮  
後に今までの大きなアタリがきました。5メ  
ートルの竿も半円形になり数分間のやり取  
りでやっと取り込むことができました。私にと  
っては自己2番目の43センチのチヌでした。  
撒餌も残り少なくなりました。もう少  
しのところまでバラしてしま、そしてまた  
すぐにアタリが。今日一番の引きで竿が折  
れるかと思いましたが、魚影が見えたところ  
で針ごと持って行かれ又バラしてしま  
いました。逃した魚は大きい! というが、  
これホントですよ。



(つづく)